

祝平成22年度大崎町合同金婚式 手を取り合ってともに歩んで半世紀

結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝う『大崎町合同金婚式』が10月28日（木）、あすばる大崎で開催されました。

今年、金婚式を迎えられたご夫婦は、昭和35年にご結婚された方々で、当日は、65組のうち42組のご夫婦が出席されました。

同年は、上水道の通水や持留小学校が竣工された年でもあります。

式典では、東靖弘町長からお祝いの言葉と記念品が手渡されました。余興として、児童の遊戯やフラダンスが披露され、結婚50周年を祝いました。



暴力団等排除協定書調印式 連携して行政対象の暴力を排除

11月8日（月）、大崎町長と志布志警察署長との間で、町が発注する建設工事等から暴力団関係者の不当な介入を排除することを実現するため、『大崎町建設工事等における暴力団等排除措置要綱運用協定書』を締結いたしました。

その内容は、契約等の相手方から暴力団を排除することや、資材等の購入の制限等不当介入を受けた場合に、警察署から必要な支援を得られるというものです。

日吉泰隆志布志警察署長は、『安心、安全のまちづくりを進めるため、行政と連携して暴力団排除や取り締まりを強化していきたい』と力強く抱負を述べられました。



▲協定書を締結し、握手を交わす日吉署長（右）と東町長

戦没者並びに消防殉職者追悼式

10月26日（火）、町慰霊塔において大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式が行なわれました。

式には、遺族や関係者が参列し、全員で黙とうを捧げた後、東靖弘町長が『戦後65年が経過し、戦争を知らない世代が増えてきた。現在の平和がもたらされた陰には、尊い犠牲があったことを忘れてはいけない。戦没者と強い使命感の果てに殉ぜられた消防殉職者のご冥福を祈ります』と式辞を述べました。

続いて、議会議長、遺族代表者、消防団団長が追悼のことばを述べ、町関係団体の代表者が献花を行ないました。



▲戦没者並びに消防殉職者へ献花を行いました。